

吉川市

文化財・市史編さんだより

第2号

2018年10月1日

新たに市指定文化財となりました！

平成30年3月30日に『慶応日記帳』（けいおうにっきちょう）を市指定有形文化財（古文書）に指定しました。吉川市で41件目の指定文化財になります。

江戸時代、幕領だった吉川村から兵賦に応じ、御料兵（幕府直属の歩兵）として最前線で幕府軍として激動の幕末維新期を戦った、戸張伝右衛門による慶応2年8月から明治2年正月までの約4年間の日記です。幕府軍の動向について御料兵の立場からの歩兵訓練の様子や、戊辰戦争での戦闘の様子や仲間間の消息、村とのやりとり、給金受取の実態などがわかる、大変貴重な史料です。

※この史料は、11月25日から開講する古文書教室にて取り扱う予定です。（詳細は広報10月号）



市役所玄関にて展示を行いました

8月6日から8月31日まで、市役所玄関にて「戦時下の暮らし」をテーマに、資料を紹介しました。展示した資料は、「統制代用品」と呼ばれるものです。

これは、太平洋戦争末期に人々の日常生活物資が陶器で代用されたもののことで、例えば金属製の栓抜きやおろし金（おろしきん）が陶器製になっています。また、郷土資料館所蔵の火鉢には底に「信70」という刻印があり、信楽焼で有名な滋賀県で生産されたものであることがわかります。

今後も、市役所内で歴史に関する展示を行っていく予定です。市役所にいらした時はぜひ、ご覧にな



どんぶりや小皿等の日常生活品

パネル巡回展を行っています～水の恵みと水害～

吉川市には、中川や江戸川、大場川といった河川が流れ、川と生活をしながら発展してきました。その一部を紹介する形で今回、「水の恵みと水害～水と共に生きる」をテーマにパネル巡回展を市内の小中学校、公共施設で行っています。

水の恵みとして、稲作や水田、水害として平成5年の大雨の様子や昭和22年のカスリン台風の様子、現在の対策として市内の調整池の整備についてなど紹介しています。

12月17日(月)から27日(木)までは、市民交流センターおあしすでも展示を行い、31年1月から3月にかけて各地区公民館でも展示予定です。ぜひ、お近くの施設でご覧ください。



吉川小学校での展示（6月）

市史編さん事業で収集した資料を整理しています

- 「広報よしかわ」記事目録の作成
- 市史編さん過程で収集した古文書の情報カードの作成
- 市史編さん過程で収集した写真の目録・見本帳の作成
- 過去の吉川市に関する埼玉新聞記事の整理
- 市役所、市民交流センターおあしす内のチラシの収集、整理

など多くの業務を行っています！

市史編さん室からのお願い

古い文書や写真をお持ちではありませんか？

市史編さん室では、吉川市に関する古い文書や写真、道具等を所有する方のご協力をいただき、調査を行っています。たとえどんなに汚れていても、ホコリをかぶっていても、カビが生えていても、まずはご一報ください！

問合せ：生涯学習課文化財保護係 ☎984-3563

文化財・市史編さんだより

第2号

平成30年10月1日

発行

吉川市教育委員会

生涯学習課文化財保護係

〒342-8501

吉川市きよみ野一丁目1番地